

“みんなでつくる”義農公園再整備ニュースレター vol.5

1. 第5回ワークショップ（番外編）開催！ テーマ→基本計画案報告会

昨年11～12月に開催した全4回のワークショップでは、参加者の皆さんとの対話を通じて義農公園のこれからのあり方を議論し、その成果として「義農公園を育てる5つのヒント」が整理されました。町ではこの5つのヒントを出発点に、義農公園の基本計画を1から見直し、改めて計画を組み立てました。

今回の第5回ワークショップでは、その検討結果として作成した基本計画案やロゴマーク案を紹介し、「いいね／どうなん？」という視点で意見交換を行いました。いただいたご意見を踏まえて計画をさらにブラッシュアップし、5月頃を目途に基本設計を取りまとめる予定です。今後も、町民の皆さんとともに義農公園を育てていく取り組みを進めていきます。

2. 開催概要

日時：令和8年3月3日（火） 18:30～20:30 会場：松前総合文化センター2階ふるさと学習室

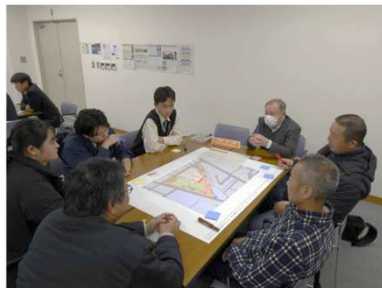
参加者：18名（子育て・現役世代／大学生／地元区長／シニア） アドバイザー：14名（伊予高生・地元関係団体・設計者ほか）



5つの軸が1つになるロゴマーク案

ワークショップの意見が反省された基本計画案（平面図）

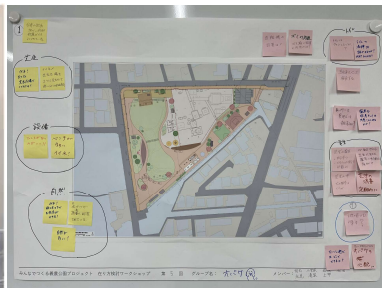
待望のタコのすべり台の復活と芝生広場のイメージパース



WS：グループワークの様子



WS：発表の様子



WS：グループワークの成果



役場ロビーにて計画案・模型の展示

3. ワークショップやアンケートで出された「いいね／どうなん？」の意見

いいね

- ・使いやすい、集まりやすそうとワクワクしました
- ・オープンな雰囲気や周囲も含め明るいエリアになりそう
- ・たこのすべり台が面白いと感じた
- ・よく練られた計画だと感じました。素晴らしいです。
- ・様々な年齢の人が楽しめると思う
- ・フェンスがないのはすごく良い
- ・義農神社を感じれる空間がいいなと思いました。
- ・桜がいっぱいある。芝生が多くて子ども受けがいい

どうなん？

- ・駐車場の数、イベントの一体感
- ・実際に人が集まるようになると、周囲の道は細いので車との共存（交通安全）が心配になりました。
- ・フェンスがなく安全性が気になる
- ・ボールが転がった時の子どもの飛び出しはどうか
- ・管理棟の使い方を検討してほしい。
- ・管理の方法 ・近隣問題 ・トイレの広さ ・義農神社の存続

4. 事務局コメント

これまでの議論を踏まえ、「これしかない」と思える基本計画案を報告しました。参加者の皆さんからは概ね受け入れていただき、「ワークショップの意見が反映されている」「よく練られた計画だ」といった声もあり、事務局としてもほっとしています。一方で、道路側フェンスや駐車場の配置、トイレの規模などの「どうなん？」というご意見もいただきましたので、今後さらにブラッシュアップしていきます。大きなハードの計画は概ね見えてきました。これからは公園をどう使い、どう育てていくかというソフト面の検討を進めるとともに、「義農公園を育てる会」「義農通りリノベーションキャンプ」「ぎのうくらぶ（仮）」の3つのアクションプランも発展させていきたいと考えています。基本設計は5月の取りまとめを目標に進めていきます。これまでワークショップにご参加いただいた皆さん、そして設計業務受注者であるジオ・グラフィック・デザイン・ラボの皆さまに、心より感謝申し上げます。

最後に、お遊びで義農精神に沿った行いを表す言葉として「ぎのる」という造語を紹介（提案）しました。日常の中で少し誰かのために行動する—そんな「ぎのる」が、公園からまちの中に広がっていけばうれしく思います。